

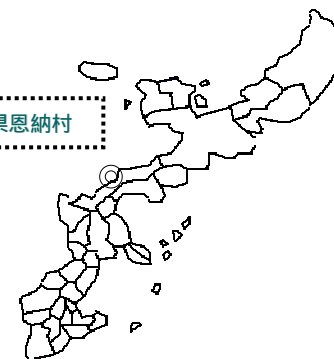
# 沖縄科学技術大学院大学設立構想について

(資料3)

## 目的

世界の科学技術の発展に寄与すること。  
沖縄をアジア・太平洋地域の先端的頭脳集積地域として発展させること。

設置予定場所 沖縄県恩納村



## 目指している研究

生命科学を中心とし、既存の学問分野を融合した先端的な領域  
(脳神経科学 (brain neuroscience) や生命情報学 (computational biology) など)

## 目指すべき特徴

Best in the world, Flexible management, Internationality, Global networking, Collaboration with industry

## 進捗状況

平成17年 9月	独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構の設立(理事長 シドニー・ブレナー博士)
12月	関係閣僚申し合わせ (今後7年程度以内を目途に大学院大学の実現を期するとの考え方も踏まえ、 経済財政事情も勘案し、本構想を推進)
平成18年 1月	機構の第1回運営委員会の開催(サンフランシスコ) 施設整備のためのマスタープランの策定
5月	機構の第2回運営委員会の開催(東京) 施設整備のための基本設計の策定

## 平成18年度の予定

施設整備に係る実施設計  
環境アセスメント終了後、造成工事等に着手

(平成21年3月頃に20ユニット収容の施設が完成予定。引き続き施設整備を進める(計50ユニット分)。)

(参考) 平成18年度予算 77億円  
研究事業費 34.1億円  
施設整備費 35.3億円  
一般管理費 7.6億円